

研究室名	生殖発生生物学研究室 論文発表
------	-----------------

発表時期	2023年5月
題名	Identification of novel candidate genes leading to sex differentiation in primordial germ cells of <i>Drosophila</i>
掲載雑誌	Gene expression patterns, 48 (2023), 119321
著者	Ryoma Ota, Hiroki Miura, Masaki Masukawa, Makoto Hayashi, and Satoru Kobayashi (本学教職員にはアンダーライン)
概要	<p>有性生殖を行う動物の多くは、メスで卵、オスで精子という2つの生殖細胞を作ります。これら生殖細胞は、胚発生初期につくられる始原生殖細胞と呼ばれる細胞に由来し、始原生殖細胞は初期胚発生過程で性が決定され、その後、卵や精子に分化していきます。しかし、始原生殖細胞の性決定や性分化の分子メカニズムは未だ十分に明らかになっていません。本論文では、性決定および性分化を開始したショウジョウバエ始原生殖細胞のトランスクリプトーム解析、<i>in situ</i> ハイブリダイゼーション、定量的PCRを行い、ショウジョウバエ始原生殖細胞の性決定や性分化に関わるものが示唆される15個の遺伝子を同定しました。本研究は、筑波大学との共同研究により実施され、生殖発生生物学教室では、主にトランスクリプトーム解析を担当しました。</p>